

3月8日は 国際女性デー (関連図書)

「国際女性デーは大河のように」

伊藤 セツ著 出版：お茶の水書房



【内容紹介】今や世界平和を希求するグローバルな女性連帯の日として定着した、3月8日の「国際女性デー」。20世紀初頭に始まったその歴史と意義を、著者の長年の研究成果から再確認する。年表・文献資料・図版多数収録。

「女たちのポリティクス」

ブレイディみかこ著 出版：幻冬舎



【内容紹介】ポリティクスという究極の「男社会」で、各国の女性指導者たちはどのように闘い、上り詰めていったのか。その政治的手腕を、激動の世界情勢と共に解き明かす。大幅に遅れる日本の問題にも言及する。

「それ、フェミニズムに聞いてみない？」

タビ・ジャクソン・ジー著 出版：明石書店



【内容紹介】現代の女性が直面する日常生活の疑問や課題をフェミニストの視点から掘り下げる。恋愛や仕事、メディアの性差別など、幅広いテーマを取り上げ、ベル・フックスからボーヴォワールまで、さまざまなフェミニストの考えを解説。

「女性・人権・生きること」

天童 睦子著 出版：学文社



【内容紹介】「女性と人権」を初めて学ぶ人のための入門書。「女性と人権」にかかわる課題を、歴史的変化と国際的視野という2つの軸で取り上げ、ジェンダーの視点から考察する。



「失われた賃金を求めて」

イ・ミンギョン著 出版：タバックス

【内容紹介】賃金差別は存在する！男女賃金格差がOECD加盟国中「不動のワースト1位」の韓国で、賃金労働する女性に本来支払われるべきだったのに払われず、どこかへ消えたお金の金額を求める試み。



「わたし8歳、職業、家事使用人。」

日下部 尚徳著 出版：合同出版

【内容紹介】バングラデシュには、「家事使用人」と呼ばれる子どもが42万人いる。「家の中」で働く女の子たちは、どのような暮らしをしているのか。女の子たちの厳しい現実、直面する問題や課題、私たちに今なにができるのかを紹介する。



「三淵嘉子」

神野 潔著 出版：日本能率協マネジメントセンター

【内容紹介】女性であるという自覚より、人間であるという自覚の下に。女性初の弁護士・判事・裁判所長となった三淵嘉子が駆け抜けた生涯を、彼女とともに時代を歩んだ家族、友人、同僚たちの姿とともに描いた物語。

「50代で一足遅れてフェミニズムを知った私がひとりで安心して暮らしていくために考えた身近な政治のこと」

和田 静香著 出版：左右社



【内容紹介】老後を目前に不安にかられた著者は「女性議員なら自分ごととして考えてくれるのでは？」と、日本で唯一パリテ(男女同数)議会を20年以上も続けてきた大磯町議会をたずねる。だが…。パワフルな政治&フェミニズムエッセイ。

「女性の権利宣言」

遠藤 ゆかり訳 出版：シモーヌ出版社



【内容紹介】女性の権利における重要な宣言文、オランプ・ド・グージュの「女性および女性市民の権利宣言」と1967年に国連が採択した「女性に対する差別の撤廃に関する宣言」を、31人の現代芸術家が解釈したイラストと共に紹介する。

(TRCMARC より抜粋)

関連図書 43 冊
ご予約もできます

